

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地域との連携を図った防火訓練の実施を図るため、協力者の役割を明確化し、運営推進会議の会員や地域の防火協力員の参加を得るほか、薄暮時などでの夜間想定訓練の実施を期待したい。	①夜間想定訓練を実施して、災害や火災発生など非常時に際しての心構えや地域との連携のあり方を検証する。 ②非常時の協力を得るように、普段から地域との交流を行い馴染みの関係性を作る。	①防災協力員や運営推進会議構成員の参加の下に夜間想定訓練を実施する。 ②地域の方にお茶飲みボランティアの呼びかけをしてみる。	6カ月
2	49	一人ひとりのその日の希望にそい戸外へ出掛けたり、普段は行けないような場所へ出かけるような支援ができていない。	①ご入居者様一人ひとりにそった外出支援を行う。 ②ご家族等の協力を得ながら普段出かけられないような場所へ出かける。	①ご入居者様一人ひとりにそった外出支援を行う。 ②ご家族等の協力を得ながら墓参りとか、自宅に帰る機会を作る。	6カ月
3	43	排泄パターンを把握し、トイレ誘導しているものの排泄の自立支援に繋がっていない。	排泄パターンの把握から排泄の自立支援の目標をオムツゼロに向けた取り組みを行う。	①オムツゼロに向けた研修会または先進地視察を行う。 ②排泄のアセスメントを実施する。 ③オムツゼロに向けた職員の勤務時間の見直しや体制づくりを行う。 ④オムツゼロの取り組みを行う。	1年間
4	38	一人ひとりのペースに合わせた生活や役割をもった生活、くつろげる居場所での生活等ができていない。	一人ひとりの居場所があって、一人ひとりのペースに合わせて、一人ひとりが役割をもって、いきいきした生活ができるように支援する。	①一人ひとりのできること、したいことや食べたい物などを生活全般について見直しするため、担当制を導入する。 ②一人ひとりのできること、したいことや食べたい物などを生活全般についてアセスメントする。 ③アセスメントを下にカンファレンスを行い、介護計画の見直しを行う。	6カ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。